

日ごろの備え、できていますか？

家庭でできる防災対策

自然災害は未然に防ぐことはできません。あらゆる自然災害から自分の身、家族の身を守るには、日ごろからの備えが大切です。

防災対策を生活の一部に入れ、災害に備えてやるべきこと、災害が起こったときどうするかなどを家族みんなで話し合い、できることから積極的に取り組み、かけがえのない生命や貴重な財産を災害から守りましょう。

家の中の安全対策

地震のときに、倒れてきた家具の下敷きになりケガを負ったり命を失なってしまう方が多くいます。家具を固定したり、家具の配置を見直し、家の中の安全空間を確保しましょう。

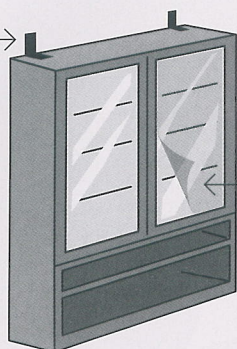
◎家具の転倒・落下を防ぐため、家具と壁、柱の間に空間つくり。L字型金具など転倒防止器具を利用して、転倒・落下を防ぎましょう。

◎寝室や子供・お年寄りがある部屋に家具をたくさん置かない。家具を置く場合は、背の低い家具を

置くようにしましょう。

◎地震で家具が倒れてきたときに、通路や出入口をふさがないように、家具の向きや配置を工夫しましょう。

◎食器棚は開き戸に留め金をつけ、ガラス飛散防止フィルムを貼るなど、ガラスや食器などが飛散しないように工夫しましょう。



L字型金具

ガラス飛散防止フィルム

家族で防災について話し合いましょ

地震などの災害は突然襲ってきます。被害を最小限に食い止めるためには日ごろからの備えが大切です。家族で防災について話し合い、災害から身を守る方法を話し合いましょ。

①家族一人ひとりの役割分担を決める

▼火の始末、出口の確保、非常持出品の確認など

②家の内外の危険箇所をチェック

▼家の中に安全空間をつくる、家具の転倒防止、窓ガラス飛散防止など

③災害時の連絡方法、避難場所・避難ルートの確認

▼災害時に家族が離れ離れになってしまったときの連絡方法、避難する場所などを確認

▼避難場所までの安全な避難方法や避難ルートを確認

④非常持出品、備蓄品をチェック

▼避難するときに持ち出す最小限の必需品を確認、賞味期限の確認

⑤応急手当の仕方

▼災害発生時は、救急車はすぐに到着できません。大切な人の生命を守ることができるよう応急手当の方法を身につけましょ。

地震が起きたら…安全対策10ヶ条

- ①まずは身の安全を確保
- ②すばやく火の始末
- ③戸を開けて出口を確保
- ④火が出たらすぐに消火
- ⑤外へ逃げるときは慌てずには近づかない
- ⑥狭い路地やブロック塀には近づかない
- ⑦がけ崩れ、津波に注意
- ⑧避難は徒歩で
- ⑨みんなで協力し合って応急救護
- ⑩正しい情報を聞く

安全に避難するために

- ①避難する前に、もう一度火の元確認
- ②家に避難先や安否情報のメモを残す
- ③お年寄りや子どもを誘導する
- ④避難はできるだけ指定された避難場所へ
- ⑤ヘルメットや防災ずきんで頭を保護する
- ⑥荷物は最小限に